

総 務 分 科 会 会 議 記 録

- 1 期 日 令和 8 年 2 月 5 日 (木)
午前10時 4 分 開会
午前10時35分 閉会
- 2 場 所 第 1 委 員 会 室
- 3 出 席 委 員 委 員 長 芹 澤 正 志
副 委 員 長 太 田 智 博
委 員 青 柳 順 子、須 山 泰 一
竹 中 理、福 田 嗣 久
米 田 達 也
- 4 欠 席 委 員 なし
- 5 説 明 員 (別紙のとおり)
- 6 傍 聴 議 員 なし
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 事 務 局 職 員 主 幹 兼 議 事 調 査 係 長 山 本 雅 彦
- 9 会 議 に 付 し た 事 件 (別紙のとおり)

総務分科会長 芹澤 正志

総 務 分 科 会 次 第

2026年2月5日（木）本会議休憩中
第1委員会室

1 開会

2 分科会長あいさつ

3 協議事項

(1) 分担案件の審査について

ア 報告第1号 専決処分したものの承認を求めることについて

専決第1号 令和7年度豊岡市一般会計補正予算（第8号）

イ 第1号議案 令和7年度豊岡市一般会計補正予算（第9号）

(2) 意見・要望のまとめについて

ア 分科会意見・要望のまとめ

4 その他

5 閉会

令和 7 年第 8 回豊岡市議会（定例会）議案付託表

予算決算委員会付託議案に係る分科会分担表

【 総 務 分 科 会 】

報告第 1 号 専決処分したものの承認を求めることについて

専決第 1 号 令和 7 年度豊岡市一般会計補正予算（第 8 号）

第 1 号議案 令和 7 年度豊岡市一般会計補正予算（第 9 号）

2025年度 豊岡市議会総務委員会名簿

2026年2月5日(木)

【総務委員】

委員長	芹澤正志
副委員長	太田智博
委員	青柳順子 須山泰一 竹中理 福田嗣久 米田達也

7名

【説明員】 ※出席者に着色しています

議会事務局	
議会事務局長	坂本英津子
議会事務局次長	佐田美佐樹
市長公室	
市長公室長	谷口雄彦
次長兼秘書広報課長	藤本充
秘書広報課参事	栗垣敦子
経営企画課長	真狩直哉
D X ・行財政改革推進課長	橋本直紀
行政管理部	
行政管理部長	野村亮太
次長兼財政課長	長谷川幹人
財政課参事	宇野友喜
資産活用課長	植田孝志
危機管理部	
危機管理部長	畑中聖史
危機管理課長	松岡久雄
総務部	
総務部長(会計管理者)	宮代将樹
総務課長	大形昌民
総務課参事(文書法制担当)	山本慎二
次長兼人事課長	岡亮吾
人事課参事	植田真美
くらし創造部	
くらし創造部長	谷岡慎一
地域づくり課長	宮田裕史
多様性推進・ジェンダー ギャップ対策課長	原田紀代美
多様性推進・ジェンダー ギャップ対策参事	道下一

市民部	
税務課長	塚本尚見
城崎振興局	
地域振興課長	木村弥江
竹野振興局	
地域振興課長	小林昌弘
日高振興局	
地域振興課長	吉田政明
出石振興局	
地域振興課長	三宅徹
但東振興局	
地域振興課長	大岸勝也
会計課	
会計課長	西村嘉通
会計課参事	高木智佳子
消防本部	
消防長	井崎博之
消防本部参事兼総務課長	中地修
消防本部参事兼警防課長	田中陽一
予防課長	中尾浩
選挙管理委員会・監査委員事務局	
選管監査事務局長	中奥実
説明員計 5名	
【担当事務局職員】	
議会事務局主幹	山本雅彦

計 13名

午前10時04分開会

○分科会長（芹澤 正志） それでは、皆さん、おそろいようですので、ただいまから総務分科会を開会いたします。

それでは、引き続きご苦労さまですけども、何とぞ慎重審議、よろしくお願いいたします。

委員の皆さんは、Side Books上のフォルダー、ホーム、総務委員会、総務20260205が本日の委員会のフォルダーですので、そこに本日の委員会の資料を配信しております。

委員の皆さん並びに当局職員の皆さんは、質疑、答弁に当たりましては、要点を押さえ、簡潔明瞭に行っていただきまして、スムーズな議事進行にご協力をお願いいたします。

なお、分科会での発言は、分科会長の指名の後、マイクを使用して課名と名字を名のってから行っていただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、これより3の協議事項、（1）分担案件の審査について、ア、分科会審査に入ります。

報告第1号、専決処分したものの承認を求めることについて、専決第1号、令和7年度豊岡市一般会計補正予算（第8号）を議題といたします。

当局の説明は、歳出、歳入等の順に一気に説明をお願いします。

なお、説明に当たっては、資料のページ番号をお知らせください。

質疑は、説明が終わった後に一括して行います。

それでは、当局より説明願います。

選管事務局、お願いします。

○選管監査事務局長（中奥 実） では、議案書の5ページをご覧ください。専決第1号、令和7年度一般会計補正予算（第8号）です。

本案につきましては、地方自治法の規定により、議会を招集する時間的余裕がないということで、1月19日付で専決処分したものです。

第1条で、歳入歳出それぞれ5,875万5,000円を追加し、総額を546億8,669万3,000円としたものです。

本補正予算の概要ですが、衆議院議員総選挙に要

する経費となります。

歳出は、16、17ページをご覧ください。

17ページ、説明欄の上から10行目、消耗品費は、ポスター掲示板資材が主なものとなります。その5行下、通信運搬費は、入場整理券の郵便料、5行下、業務委託料は、入場整理券作成業務などが主なものとなります。

歳入については、戻っていただき、14ページ、15ページをご覧ください。

県支出金の衆議院議員選挙事務委託金となります。

説明は以上です。

○分科会長（芹澤 正志） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

須山委員。

○委員（須山 泰一） 先ほど本会議のほうで、この委員会で質疑できる場がないかなと思って、先走りましたけど、先ほどお聞きしたことのほかのことですけど、1月22日に私にはメール配信で繰上げという連絡が来て、その後すぐに、アンケートの結果というのも送られてきてまして、この繰上げについてアンケート取られたんですね。それで、最初の繰上げの通知に関しては、大雪の中、職員の安全を考慮するような意味合いだったと思ってるんですけど、このアンケートの結果は、もう多くの方が繰上げに賛成しているような数字があったと思うんですよ。今回ののは、通知には、そうしたアンケートの結果を踏まえてということではない通知ですよ。だから、直後に、このアンケートの結果が出されて、これも踏まえて繰り上げたんかなと思えるようなことでしたが、その辺、いかがでしょう。

○分科会長（芹澤 正志） 中奥局長。

○選管監査事務局長（中奥 実） アンケートにつきましては、9月末に全市内の区長さん宛てにアンケートを取らせてもらって、その結果が出たということで、議員の皆さんにはお知らせさせていただきました。今回の衆議院議員選挙につきましては、真冬の選挙ということで、そのアンケート結果は、そういう声があると、賛成多数があるんだということで、

選挙管理委員会としては、今後の選挙について、繰上げをするかどうかという検討をします、検討材料の一つで、こういうアンケート結果が出ましたということでご報告させてもらいました。この衆議院議員選挙については、今回、この冬場の、真冬の選挙ということで、投票缶の無事な運搬等を含めまして、今回に限り、2時間繰り上げさせてもらったということになります。

○分科会長（芹澤 正志） 須山委員。

○委員（須山 泰一） 通知だけ見れば、今回だけ、もう特別なことだというふうに取れるし、その後に送られてきたアンケートを見ると、これからずっと繰り上げていくのではないかというふうに取れたわけでして、いずれにせよ、今回の選挙、2月8日投票、誰が悪いんですか、ちょっとあれですけど、何でこんな超短期なんか、別に当局、全く悪くないと思うんですけど、要は1月20に通知で、1回、新聞折り込みか何かで、2月8日6時までですというのは見ましたが、あれ、誰もが見てない中で、あまりにも突然な繰上げ、時間の繰上げが突然であって、多くの人、知らないという問題が今回はもう表れる選挙になるんじゃないかということを危惧しております。もう今さら、この段になって、対応いったって、なかなか難しいことではあると思いますけど、そういうことを思っております。以上です。

○分科会長（芹澤 正志） よろしいですか。

○委員（須山 泰一） はい。

○分科会長（芹澤 正志） 米田委員。

○委員（米田 達也） 18時で締切りということなんですけど、例えば今度の日曜日、雪予報になって、大雪になる可能性があると言われてますよね。その場合、例えば警報級だったりとか、物すごい降雪があったとか、さらに繰り上げて16時になったりとかっていうこともあり得るんですかね。

○分科会長（芹澤 正志） 中奥局長。

○選管監査事務局長（中奥 実） 本当の場合によれば、起き得るかも分かりませんが、以前も台風の関係で4時に繰り上げてということがありました。もうそういうことで、災害級の対応が必要

になれば、繰上げ、もうちょっと繰上げというものも考えていかななくてはならないかと考えております。

○分科会長（芹澤 正志） 米田委員。

○委員（米田 達也） まあ、ほかのことはちょっと関係ないんで。

○分科会長（芹澤 正志） そうですね。急なことです。早急周知と早急決断でよろしく願います。

ほかにございませんでしょうか。

竹中委員。

○委員（竹中 理） 予算の中に、入場券の発送の分もあると思うんですけど、昨日ちょっと問合せがあつて、期日前投票行っちゃった人の後にあれが来ましたと。その方、ちょっと高齢の方で、認知症までにはいかないんですけど、まだらぼけみたいな感じがあつて、例えばそれをまた持って、当日持っていったときには、ちゃんとはされてると思うんですけど、今回、本当に特殊な異例な急な選挙で、印刷も遅れてしまったということで、そういったことを確実に、それはもうしっかり大丈夫なのかということ、まず、1点、お願いします。

○分科会長（芹澤 正志） 中奥局長。

○選管監査事務局長（中奥 実） データで処理をしておりますので、もう既に投票来られた方については、投票済みというデータが残っております。ただ、国民審査のほうで投票できるのが2月1日からということになりますんで、それ以前に来られた方については、投票券持ってきていただいたら、国民審査のみできるということで、二重登録にならないようにデータ管理のほうはしております。

○分科会長（芹澤 正志） 竹中委員。

○委員（竹中 理） その方が心配してたのは、期日前行ったんだけど、それがちゃんと反映されてるかどうかというのが気になるのと、それ、持っていったときに、もう一回投票、もしできちゃったりとかしたら、混乱が、二重のあれになっちゃうんじゃないかなというのと、今分かりましたけど、持っていったら、国民審査だけできるということですね。

○選管監査事務局長（中奥 実） 国民審査、はい。

○委員（竹中 理） だけできる。分かりました。

○分科会長（芹澤 正志） ほかにございませんか。

それでは、賛否の確認をいたします。

本件について、賛成とする方は挙手をお願いいたします。

〔賛成者挙手〕

○分科会長（芹澤 正志） 全員賛成と認めます。

第1号議案の令和7年度豊岡市一般会計補正予算（第9号）を議題といたします。

第1号議案中、当分科会に審査を分担されましたのは、所管事項に係る歳入歳出予算補正、債務負担行為補正及び地方債補正についてであります。

当局の説明は、まず財政課から全体概要を含めて説明を、その後、担当課から歳出、歳入等の順に一気に説明をお願いいたします。

なお、説明に当たっては、資料のページ番号をお知らせください。

質疑は、説明が終わった後に一括して行います。

それでは、順次説明願います。

財政課長。

○財政課長（長谷川幹人） 19ページをご覧ください。19ページです。第1号議案、令和7年度一般会計補正予算（第9号）でございます。

第1条で歳入歳出それぞれ16億9,526万1,000円を追加しまして、総額を563億8,195万4,000円とするものでございます。第2条で繰越明許費の追加を、第3条で地方債の変更を行っております。

本補正予算の概要ですが、昨年の12月の16日に強い経済を実現する総合経済対策の国の補正予算が成立をしたということになります。このうち、直ちに対応が必要と思われますプレミアム付商品券、水道料金の基本料金の無償化、子育て応援手当などについては、12月議会でもう既に提案しまして、議決をいただいているところでございます。今回提案する経済対策事業も、本市に交付される地方創生臨時交付金、これは総額10.5億円です。10.5億円の地方創生臨時交付金を活用しまして、

介護、障害福祉サービス事業者への一時支援金の支給、農林水産事業者や中小企業者の機器等の導入経費の一部支援、市民の省エネ家電買換え支援などを行います。

なお、医療機関等への一時支援金につきましては、県の制度と重複するということが判明しましたので、市の支給は取りやめ、計上している予算の執行を停止した上で、3月補正予算で減額することとしております。

また、ほかに、国の補助金を活用した避難所への災害用簡易トイレなどの充実、基盤整備促進事業の圃場整備や農道橋の耐震化、地籍調査、小学校の屋内運動場への空調設備の設置などを行うものでございます。

さらに、その他の一般事業としまして、ふるさと納税の増収分、約4億3,000万円程度の返礼品や基金の積立て、大雪に伴う市道の除雪経費の増額を計上しているといったところでございます。

財源としましては、国県支出金、ふるさと納税、市債などのほか、一般財源には国の経済対策として再算定されました普通交付税、そのうち、臨時経済対策費として4億円がさらに再算定をされているということになります。その他、特別交付税を充ててるといったことでございます。

続きまして、財政課所管分の説明です。36ページ、37ページをご覧ください。

2款総務費の説明欄、2段目の基金管理費でして、その下の市債管理基金積立金8,241万4,000円につきましては、2026年度、2027年度における臨時財政対策債の元利償還金の一部を積み立てるものでございます。その経費につきましては、普通交付税の再算定で措置されるといったことでございます。

説明は以上でございます。

○分科会長（芹澤 正志） 続いて、危機管理課、どうぞ。

○危機管理課長（松岡 久雄） 私からは、危機管理課の所管分を説明させていただきます。

まず、歳出からご説明いたします。45ページを

お開きください。

下から3つ目の区分のところになりますけれども、災害対策費の備品購入費で、避難所充実事業費として1,375万円を計上しております。こちらは、国の総合経済対策事業の地域未来交付金を活用しまして、指定避難所で使用する災害用の簡易トイレと、その災害用簡易トイレを囲う要配慮者対応のテントを併せて購入するものです。購入後は、各コミュニティセンターに配備しまして、防災啓発の展示ですとか、また、各地域での防災訓練などでも活用していただくことを検討しております。

次に、歳入です。31ページをお開きください。

下から2つ目の区分で、国庫支出金の国庫補助金、地域未来交付金となります。歳出で説明いたしました購入物品が国の交付金の対象となり、事業費の2分の1に当たる687万円を計上しております。

最後に、22ページをお開きください。繰越明許費の補正です。

下から2つ目の消防費ですが、交付金の内示が3月となる見込みであるため、歳出の全額1,375万円を繰越明許費としております。

説明は以上です。

○分科会長（芹澤 正志） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

○委員（福田 嗣久） コミセンに配付する1,375万円の詳細、どこにあったんや、ちょっと待ってね。よろしいですけども、これは、こういったことをするのは初めてかいな、簡易トイレみたいなものを配付するのは。

○分科会長（芹澤 正志） どうぞ。

○危機管理課長（松岡 久雄） 今回、購入する予定と考えてます簡易トイレについて、自動ラップ式トイレといいまして、箱形のもので、足を出して蓋を開けますと、便座が現れて、そこで用を足せるというしっかりしたトイレなんですけど、こちらにつきましては、実は昨年度も同じように国の補正予算で、このような補助金がありまして、購入して、今年度に繰り越しして、年度初めに購入手続きをしまして、年度末に配付する予定としています。予算の都合上、

各コミュニティセンター1基の配備となっております。結構高価なもので、このたびも同じ名目で、購入の補助として活用できますので、1基では、例えばジェンダーの視点等を考えますと、男性、女性と、最低2基の配備が必要であると考えておりまして、今年度、もう1基、各コミュニティセンターに配備していきたいということで、購入年度は来年度、繰り越ししてからということになるんですけども、昨年度に引き続きとなりました。

○委員（福田 嗣久） 分かりました。

○分科会長（芹澤 正志） 福田委員、よろしいですか。

○委員（福田 嗣久） 自動ラップ式簡易トイレ、これですな。

○危機管理課長（松岡 久雄） はい、そうです。

○委員（福田 嗣久） これは、1基分はもう既に入ったということか。

○分科会長（芹澤 正志） 課長、どうぞ。

○危機管理課長（松岡 久雄） 今年度末に。

○委員（福田 嗣久） ああ、末に。

○危機管理課長（松岡 久雄） はい。昨年度の繰越しで、今年度末に入る予定で、もう発注はかけております。

○委員（福田 嗣久） 避難所に対応させるいうことは、要するにこの今の補正分で30基の予定になってるけども、男女分けて、各コミセンに2つつ置くと、こういうことですか。

○分科会長（芹澤 正志） 松岡課長。

○危機管理課長（松岡 久雄） はい、そのとおりです。

○委員（福田 嗣久） それから、もう一つのプラスチック製折り畳み簡易トイレ、もう一つね、写真で載ってるのが、この自動ラップ式いうやつか。この詳細案内で載ってる、避難所への。

○分科会長（芹澤 正志） 松岡課長。

○危機管理課長（松岡 久雄） はい、そのとおりです。

○委員（福田 嗣久） そのとおり。

○危機管理課長（松岡 久雄） はい、そのとおりで

す。

○委員（福田 嗣久） もう一つのプラスチック製折り畳み簡易トイレ60基、これをちょっと金額、安そうだけど、これは、要するに各コミセンに2基ずつ置く予定で60基ということか。

○分科会長（芹澤 正志） 松岡課長。

○危機管理課長（松岡 久雄） その予定で今考えております。ただ、これからまた内示等を受けてということになりますので、例えば補助申請とかの手続の関係で、内容が、例えば数量も含めまして、変わる可能性はあります。

○委員（福田 嗣久） なるほど。

○分科会長（芹澤 正志） 福田委員。

○委員（福田 嗣久） それで、課長のほうは、一遍座ったことがあるんか、これで。座ったことはあるのか。

○分科会長（芹澤 正志） 課長、どうぞ。

○危機管理課長（松岡 久雄） 私もありますし、部長も実際座っております。

○委員（福田 嗣久） 用が足せそうな感じですか。それは結構です。

○分科会長（芹澤 正志） よろしいですか。

ほか。

米田委員。

○委員（米田 達也） 長谷川課長からプレミアムクーポン券のことにあつたんですけど、これって、本来、所管は建設経済になるのかなと思うんですけど、いいですか、このプレミアムクーポン券のことでも。

豊岡って、以前から何%かのプレミアムをつけて、もともと1万円が1万2,000円を買ってもらうとか、今回は8,000円で1万2,000円のプレミアムという方式だと思うんですけど、もともとそれはなぜ、じゃあ、差額の分の、今回だったら4,000円なりを給付型というか、元手なしで、本来、給付してほしいという声も結構あって、豊岡市としては、もともとその原資となる8,000円なりを買ってもらうことで経済をというふうな趣で言われとったかと思うんですけど、隣の香美町さんな

んかは、プッシュ型で、もう給付ってされてて、僕もどっちがいい悪いを言うわけではないんですけど、実態として、そういうもともと8,000円の用意をするのがなかなかということで、それだったら、プレミアム分の差額を配付、給付という格好にしてもらえないかという声が結構ありまして、そういう声があるということをお伝えをしたかったんで、質問という格好じゃないんですけど、そういう声があるということをお伝えしてもらって、次回以降にまた検討の一助にってもらえたらなということをお願いいたします。以上です。

○分科会長（芹澤 正志） お願いでよろしいですか。

○委員（米田 達也） お願いです。

○分科会長（芹澤 正志） ほか、ございませんか。須山委員。

○委員（須山 泰一） 私も今の意見は同意見なんですけど、ここの委員会で、もし説明していただけるなら、財源構成というのをちょっと教えて、プレミアム商品券、もし教えていただけたら、委員会違うんで、教えていただけたらと思います。

それと、もう一つは、今、今日説明された議案そのものでなくて、議案の説明資料のほうで書いてある書き方では、地方創生臨時交付金事業と、もう一つの国の総合経済支援事業と、2つ分けて書いてあるじゃないですか。それで、一般紙で、この今回の補正予算の紹介の際には、国の総合経済対策事業の費用かな、3回に分けて、この12月24日の閉会日と今回の臨時議会と春に、3回に分けて市は使うんだというような書き方もあつたんですけど、国の総合経済対策事業というのは、総額が10億円ぐらいでしたっけ、それを3回に分けて使うということでよろしいでしょうか、その辺を教えてください。

○分科会長（芹澤 正志） 長谷川部次長。

○行政管理部次長（長谷川幹人） まず、財源構成というのは、この概要のこのプレミアム商品券の財源構成ということでよろしいですか。

○委員（須山 泰一） うん。

○行政管理部次長（長谷川幹人） ちょっとお手元、皆様の補正予算（第9号）の概要のところの4ペー

ジ、(8)に、ちょっとプレミアム商品券の財源構成というのがあります。プレミアム商品券につきましては、12月に議決をいただいた分です。そのときは臨時交付金を全て充てていました。ただし、プレミアム商品券のもの、実際に買われない方もおられますので、そうすると、臨時交付金を満たさなくなる、返還しなければならないということがありますので、その臨時交付金に一般財源を充てて、もし購入率が低くても、臨時交付金を返さないように、ちょっと工夫をさせてもらったといったことになります。その一般財源につきましても、先ほど言いましたように、普通交付税の再算定で約4億円ほど、臨時経済対策費として支給、措置されてますので、一般財源といえども、その再算定の普通交付税を充てたということにはしております。ちょっと非常に難しいですけど。

それと、もう1点、先ほどの臨時交付金につきましては、約10.5億円、給付をされているということです。12月につけて、次、今回、2月と。今、約2.5億円、3億円ほど、今余分がありますので、それは春、夏用に活用したいというふうに考えます。理由としましては、通常、この臨時交付金、4億円程度の給付なんですけど、今回10.5億円と非常に大きい金額でもありますので、一度に使うよりは、ある程度分けて、その都度、その都度、必要な物価高騰対策を実施したいといったことで、今回はちょっと3回に分けて実施させていただくというのが実際でございます。以上です。

○分科会長(芹澤 正志) 須山委員。

○委員(須山 泰一) そしたら、地方創生臨時交付金というのは、どれぐらい、これはあって、全部もうこれで使えてるんでしょうか。

○分科会長(芹澤 正志) 長谷川部次長。

○行政管理部次長(長谷川幹人) ちょっと非常に分かりにくいんですが、地方創生臨時交付金が10.5億円、普通交付税の再算定が4億円、それ以外に国の経済対策として、ひもつきの使途が限られてる補助金が出てくるということで、ちょっと分かりにくいんですけど、そのような仕組みということにな

ります。先ほどこちらのほうの避難所については、ひもつきの国の経済対策としての補助金、これ以外につきましては、基本的には臨時交付金を活用した市独自の政策といったことになります。以上です。

○分科会長(芹澤 正志) 須山委員。

○委員(須山 泰一) 分かりました。もっと勉強させていただきます。ありがとうございます。

○分科会長(芹澤 正志) ほか、ございませんか。福田委員。

○委員(福田 嗣久) 長谷川課長、最初説明をされた37ページの市債管理基金の積立て8,241万4,000円ですけれども、臨時財政対策債用に積むちゅうことですな。

○分科会長(芹澤 正志) 長谷川部次長。

○行政管理部次長(長谷川幹人) これ、我々もよく、何でこれをしてるかよく分からないんですけど、過去、臨時財政対策債というのを借りています。それは、交付税で足りない分を臨時財政対策債で発行するということになります。その臨時財政対策債というのは、実は100%交付税算入されるということになります。過去借りた分を毎年返していくんですけど、2026、2027年度に交付される交付税相当額を前倒ししてもらうという状況です。前倒ししてもらっても、我々としては、また来年、再来年、償還しなければならないので、もらったんだけど、それを積み足して、また2026、2027に、そこに充当していくといいでしょうか、繰り入れていくということになります。ですので、多分全国の自治体が、これ、何のための制度かというのは、すごい意味が……。ちょっと議事録やめてほしいけど、ちょっと分からない制度だなというのは、多分全国の財政部局が思っているような案件でございます。以上です。

○分科会長(芹澤 正志) 福田委員。

○委員(福田 嗣久) そういう指示があるわけですか。要するに、2026年、27年に返す分を先に渡すから、積んどきなさいという。

○分科会長(芹澤 正志) 長谷川部次長。

○行政管理部次長(長谷川幹人) 一部使ってもいい

んですよ、資金で使ってもいいですよということもあるんですけど、ほとんどの自治体が基金に積んで、来年、再来年に備えていると思っています。以上です。

○委員（福田 嗣久） 分かりました。

○分科会長（芹澤 正志） よろしいですか。

○委員（福田 嗣久） はい。

○分科会長（芹澤 正志） ほかに。

それでは、賛否の確認をいたします。

本案について、賛成とする方は挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

○分科会長（芹澤 正志） 全員賛成と認めます。

以上で分科会に分担されました議案に対する審査は終わりました。

ここで、委員の皆さん、当局の皆さんから何かありましたら、ご発言をお願いいたします。

ないようですので、ここで、当局の職員の皆さんは退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

それでは、これより、協議事項の意見・要望のまとめについて、ア、分科会意見・要望のまとめに入ります。

当分科会に審査を分担されました案件の審査は終了しました。

ここで、分科会意見・要望として、予算決算委員会に報告すべき内容についてご協議いただきたいと思います。

暫時休憩いたします。

午前 10 時 34 分休憩

午前 10 時 35 分再開

○分科会長（芹澤 正志） それでは、再開いたします。

予算決算委員会での分科会長報告についてですが、内容につきましては、正副分科会長にご一任いただきたいと思いますけれども、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（芹澤 正志） ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

これより、4、その他に入ります。

その他、委員の皆さんから何かあれば、お願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（芹澤 正志） それでは、以上をもちまして総務分科会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前 10 時 35 分閉会
